SCIBORG

HV-100 取付・取扱説明書

車両接近通報装置

30系プリウス、SAIおよびレクサスHS250hへの取り付けは本紙裏面を参照ください。
それ以外の車両へ取付ける場合には必ず別紙説明書に従って作業してください。

この度はHV-100車両接近通報装置をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しい取扱い方法によりご使用いただけますようお願いします。
この取扱説明書は大切に保管してください。

Ver.19Z11

検　印

製造元　株式会社キラメック
〒475-0936　愛知県半田市板山町9丁目183番地1
お問い合わせ先：0120-504-980（土、日、祝祭日、当社休業日を除く AM10:00 ~ 12:00・PM10:00 ~ 4:00）

使用上の注意

ご使用の前に下記の注意事項を必ずお読みください。

⚠ 危険

下記の状態や場所での使用は避けてください。事故・火災等の危険性があります。

本製品に付属している専用ハーネスおよびコネクターはHV-100専用です。HV-100以外の接続目的で電源や信号をHV-100専用ハーネスから分岐すると、車両故障や車両火災の原因となることがありますので、絶対にやめてください。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合、人体に影響を及ぼす可能性があります。

■本製品は本説明書に記載された適合車種（トヨタハイブリッド車）にのみ取付可能です。それ以外の車両へ取付を行うと、車両または本製品の故障・損傷のみならず人体にも危険が及ぶ可能性がありますので絶対にやめてください。
■本製品の設置・固定は、車両の機器や他の機器と干渉する場所やそれら機器に影響を及ぼすような場所には行わないでください。特に車両の機器の性能を損なうような取付を行うと、本製品の故障・損傷のみならず人体にも危険が及ぶ可能性がありますので絶対にやめてください。
■本製品を改造すると、本製品や車両の故障・損傷のみならず人体にも危険が及ぶ可能性がありますので絶対にやめてください。
■本製品は、運転者の注意義務を軽減するものではありません。周囲の安全を十分確認して走行して下さい。
■本製品の取り付けは、本書に従っておこなって下さい。正しい手順が守れなかった場合、本製品や車両の故障及び事故の原因のみならず人体にも危険が及ぶ可能性があります。
■本製品のコントローラーボックスは防水・防滴仕様ではありません。水分・油分などが浸入すると、車両又は本製品の故障・破損のみならず人体にも危険が及ぶ可能性がありますので水分・油分が浸入する可能性がある場所への設置は絶対にやめてください。
■配線類が可動部やカバー等に挟み込まれないようにして下さい。断線やショートし、本製品や車両の故障の原因のみならず人体にも危険が及ぶ可能性があります。
■配線類は、ステアリングシャフトやペダル類の可動部付近に配線しないで下さい。運転の妨げになり、事故の原因となります。

⚠ 注意

下記の使用には十分注意してください。車の故障又は本製品の機能面に支障を起こす可能性があります。

■本製品は日本国内のみで使用できます。海外では使用しないでください。
■本製品を水、湿気、熱、湯気、ほこり、油等の多い場所に保管すると火災、感電、故障の原因になりますので絶対にやめてください。
■エンジンルーム等の洗浄を行うとスピーカーに水分、油分が侵入し故障の原因となりますのでやめてください。
■日本国内正規ディーラー車のみの対応となります。
■本製品の動作の有無に関わらず弊社では交通事故等の責任は一切負いません。
■本製品の仕様、デザインは改良のため予告無く変更する場合があります。
■本製品の取り付けは、必ず専門知識・設備のある取扱業者で行ってください。

■製品の主な特徴

○ 車両のイグニッション、ギアポジション、車速、およびEVモードの状態を検知し、コントローラーの設定に従って疑似音を発します。

○ 疑似音は付属の停止スイッチでいつでもワンタッチで停止・発生できます。高速道路での渋滞中など、疑似音が必要ない場合に便利です。

○ 疑似音はEVモードに連動して停止する事ができます。車両がEVモードに設定されると自動的に疑似音を停止します。深夜、消音のためにEVモードを使用される際に疑似音の消し忘れがなく便利です。

○ 疑似音が任意に停止されている事を知らせるLEDを装備しています。

○ 似音停止速度を20Km/hと30Km/hから選択可能です。疑似音は車速に応じて自動的に停止しますが、停止する車速を20Km/h以上または30Km/h以上から選択できます。

○ 車速に応じて疑似音の調子が自動で変化します。

○ 車両通信をモニタリングするDIGI∞LINK技術により、専用カプラを車両診断カプラに接続するだけで煩わしい電気的配線は一切せずに動作します。

■取り付け可能車種

○ 本製品は下記車種に取付可能です。下記リスト以外の車両へは取付しないでください。リスト以外の車両へ取付を行うと、車両または本製品の故障・損傷のみならず人体にも危険が及ぶ可能性がありますので絶対にやめてください。

メーカー	車　名	型　式	年　式
トヨタ	クラウンハイブリッド	GWS204系	08年 2月～
トヨタ	プリウス	ZVW30系	09年 5月～
トヨタ	プリウス 注意1	NHW20系 注意1	05年 11月～
トヨタ	SAI	AZK10系	09年 12月～
トヨタ	エステマハイブリッド	AHR20W系	06年 1月～
トヨタ	ハリアーハイブリッド	MHU38W系	05年 3月～
レクサス	LSハイブリッド	UVF4#系	07年 5月～
レクサス	GSハイブリッド	GWS191系	06年 3月～
レクサス	RXハイブリッド	GYL15・16系	09年 4月～
レクサス	HSハイブリッド	ANF10系	09年 7月～

注意1：30系プリウス、SAIおよびレクサスHSは本紙裏面、それ以外の車種は別紙車両毎の説明書を参照してください。

■使用方法

① 電源ON
車両のイグニッションをONすると自動的にHV-100の電源が立ち上がり、疑似音が短く出て準備ができた事を知らせます。

② 疑似音の発生
走行するためにギアポジションを「P」以外にすると自動的に疑似音が出ます。疑似音は車両が停止中（車速＝0Km/h）でも出ます。

③ 疑似音の停止（疑似音停止スイッチ）
付属の疑似音停止スイッチを一度押すと疑似音が停止します。もう一度押すと疑似音が出ます。（疑似音が停止された状態でイグニッションをOFFにしても次にイグニッションがONされた際には疑似音が出ます。）

④ 疑似音の停止（EVモード・・・DIP SW5 = OFF）
車両の走行モードをEVモードにすると疑似音が自動的に停止します。EVモードが解除されると疑似音が出ます。

⑤ 疑似音の停止（車速）
車速が20Km/h（DIP SW4 = OFF）または30Km/h（DIP SW4 = ON）以上になると自動的に疑似音が停止します。
注意！：実際の車速と車両メーター表示とでは誤差が生じます。

⑥ 電源OFF
車両イグニッションをOFFにするとHV-100も連動して待機状態になります。

ヒント！：上に記述のあるDIP SWはコントローラーにあるスイッチの事です。工場出荷時の状態ではこれらのスイッチはすべてOFFに設定されています。

■システム作動表

本装置はイグニッションON中にギヤポジションが「P」以外の状態になると疑似音を発します。より詳しい疑似音の発生タイミングは下記表を参照してください。
（※ イグニッションがONになった瞬間に疑似音を短時間発生します。）

		DIPスイッチ4		DIPスイッチ5		疑似音停止スイッチイッチ
		DIP4 = OFF	DIP4 = ON	DIP5 = OFF	DIP5 = ON	
IG = ON	ギヤ＝「P」以外	車速20Km/h以下	車速30Km/h以下	車両EVモード解除中	車両EVモード解除中	OFF
		車速20Km/h以上」	車速30Km/h以上	車両EVモード設定中	車両EVモード設定中	ON
	ギヤ＝「P」	疑似音停止、　確認LED消灯				
IG = OFF	疑似音停止、　確認LED消灯（LED点灯状態でIGをOFFすると車両コンピューターがスリープするまで消灯しません。）					

※ 表中「IG」はイグニッションの意。
※ 表中 は疑似音オン。
※ 表中 は疑似音オフ。
※ 表中 は疑似音停止中確認LED点灯。

ヒント！：疑似音停止中確認LEDは、本来疑似音が発生されるべき状態の時にEVモードまたは疑似音停止スイッチによって疑似音が停止された場合にのみ点灯します。

■主な仕様

定格電圧	DC +12V
作動電圧範囲	DC +9V　～　DC+30V
消費電流	約 500mA以下（疑似音発生中）

動作周囲温度範囲（コントローラー）	-25℃　～　+85℃
動作周囲温度範囲（スピーカー）	-40℃　～　+125℃

取付方法は本書裏面を参照

《保証・無料修理規定》

1: 本製品の保証期間はお買い上げ日より1年間です。
2: 取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で保証期間中に万一故障した場合は、お買い上げの販売店にて無料修理いたします。　ただし、出張修理の場合は実費を申し受けます。
3: 保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、製品と本書をご持参の上お買い上げの販売店にてご依頼ください。保証書のない場合には保証対象外となります。又、必ずご購入レシートを添付してください。
4: ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社へ直接お送りください。
5: 本製品は持ち込み修理品です。製品をお送りいただく際の送料および取りはずし、取付費用は、お客様のご負担となります。
6: 保証期間内でも次の場合は有償となります。
- ●製品内への水・油分、ホコリなどの異物の混入による故障及び損傷
- ●使用上、取付上の誤り、不注意による故障及び損傷
- ●不当な修理、改造による故障及び損傷
- ●お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
- ●火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害等による故障及び損傷
- ●指定車両以外に使用された場合の故障及び損傷
- ●自動車事故による故障及び損傷
- ●本製品の盗難
- ●本書のご提示がない場合または保証書記載事項に不備のある場合
- ●本書にお買上げ日、購入者名、販売店名の記入のない場合、字句を書き換えた場合

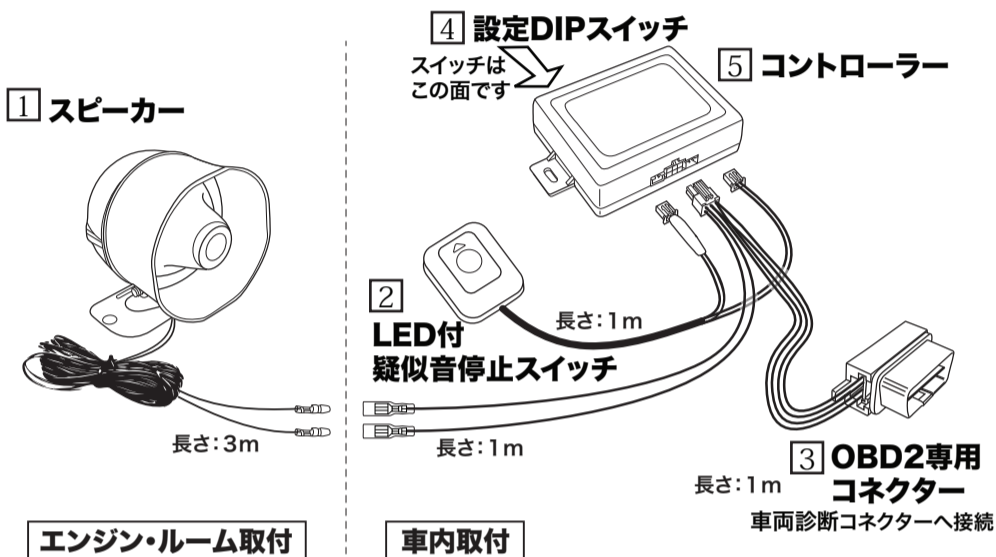
7: 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warrenty is valid only in Japan)
8: 本書は再発行は致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

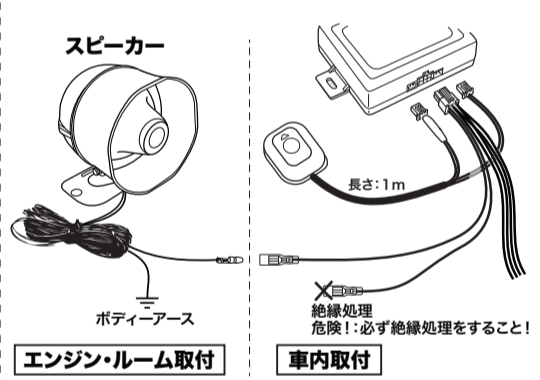
ご注意

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理等についてご不明な点は、お買上げの販売店へお問い合わせください。

各記入欄に必要事項の記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認ください。万が一記入漏れ事項がある場合は、直ちにお買上げの販売店にてお申し付けください。

■製品構成および接続概略図

注　意!: LED付疑似音停止スイッチの赤色、白色のカプラをそれぞれコントローラーの白色、赤色の2極カプラへ接続してください。接続先を間違えると正常に動作しません。
※必ずコントローラーのDIPスイッチの設定が終わってからすべてのコネクターを接続してください。

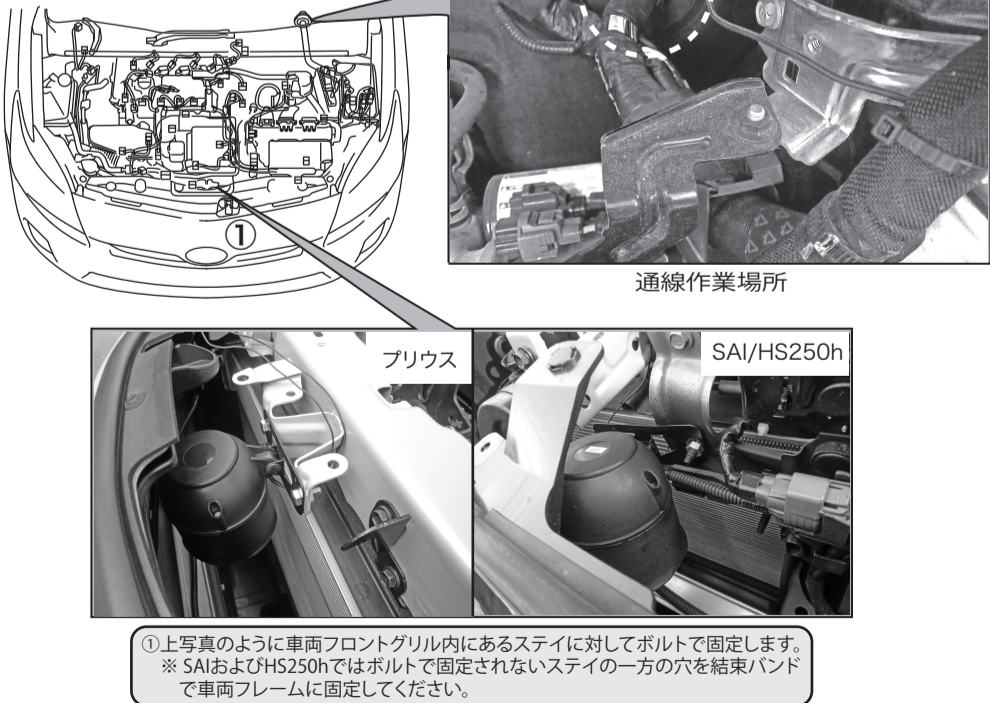
■疑似音を少し小さくしたい場合の接続方法

疑似音の音量を少し小さくしたい場合には２本あるスピーカー線の一方を車両ボディアースに接続することで約８dB音量を下げる事ができます。（この場合コントローラーの灰色線の一本は絶縁処理します。）左図を参照してください。
（通常取付ではスピーカー線は２本ともコントローラー灰色線に接続します。）

注意!：
コントローラー側のスピーカー線は絶対にボディーアースに接続しないでください。装置がショートし故障だけでなく発熱・火災の恐れがあります。

1 スピーカーの設置

☆プリウス、SAI、HS250hでの例☆

通線作業場所

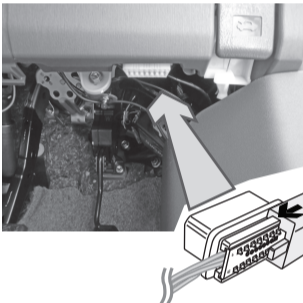
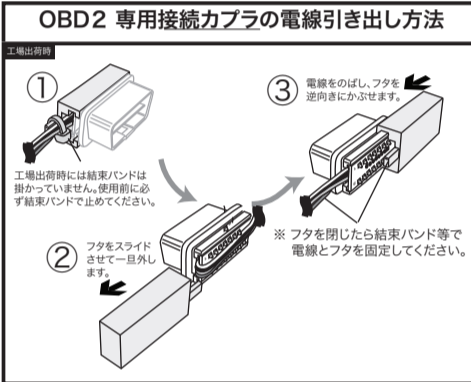
①上写真のように車両フロントグリル内にあるステイに対してボルトで固定します。
※ SAIおよびHS250hではボルトで固定されないステイの一方の穴を結束バンドで車両フレームに固定してください。

次にスピーカーコードを上図（作業場所）②のグロメットに穴を開け車室内に引き込みます。グロメットに開けた穴はブチル等のシール材を使用して防水処理してください。

2 LED付疑似音停止スイッチの設置

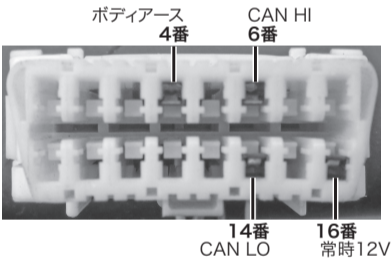
使用されていないパネルに設置

疑似音停止スイッチの設置場所は使用されていないメクラ蓋に設置してください。

ヒント!：スイッチに付属しているコネクタを通すには8.5～9mmの穴あけ加工が必要です。8.5mm以下の穴ではコネクタを破損する可能性があります。スイッチを設置することで開けた穴を隠します。ハーネスはスイッチ下部から出ていますので、穴あけ加工の際はスイッチの設置位置とのバランスに注意してください。

3 OBD II専用カプラの接続

写真の位置にある診断カプラへ接続します。

ヒント!：　車両診断カプラがすでに使用されている場合には、診断カプラ裏の電線に直接配線することで取付が可能です。専用カプラを使用せずに取付けたい場合は付属の専用カプラを切断し、右図に示す端子位置に接続している電線へ直接接続してください。

専用ハーネス内各電線色と役割

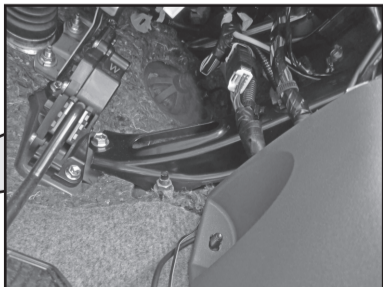
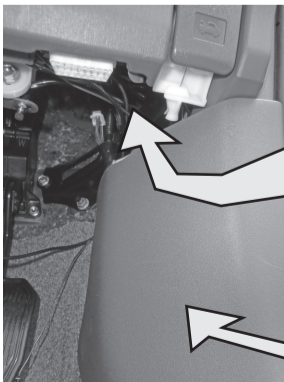
電線色	役　割
赤	+12V電源
黒	GND
茶／赤	CAN HI
茶	CAN LO

4 コントローラーDIPスイッチの設定およびカプラの接続

コントローラー（コネクタのある面の反対側）にあるDIPスイッチを必要に応じて設定します。（工場出荷時はすべてOFFに設定されています。）

SW1~SW3	さわらないでください。
SW4	疑似音停止速度の設定 OFF = 20Km/h　ON = 30Km/h
SW5	EVモード時の動作設定 OFF = 疑似音停止　ON = 無視
SW6	さわらないでください。

DIPスイッチ４および５は必要に応じていつでも変更可能です。

注意!：DIPスイッチ１～３および６はさわらないでください。

5 コントローラーの設置

左図がコントローラ推奨設置場所です。空いたスペースに結束バンドを使用して固定してください。

重要!：コントローラーを設置する際は、車両の機器と干渉したりそれら機器に影響を及ぼすような場所には行わないでください。

注意!：　コントローラーは防水・防滴仕様ではありません。コントローラーは水や油等がかからない場所に設置してください。水分・油分などが浸入すると車両または本製品の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性がありますので水や油等などがかかる可能性のある場所への設置は絶対にやめてください。